

# 萩の湯だより 12月号

NO. 5

発行日 平成29年12月01日

作成者 長沼 雄三



住所 東京都台東区根岸2-13-13  
JR 山手線鶯谷駅徒歩3分 JR 日暮里駅徒歩8分  
電話 03-3872-7669  
HP アドレス <http://haginoyu.jp/>  
営業時間 朝湯 6:00~9:00 (最終受付 8:30)  
11:00~深夜 1:00 (最終受付 0:30)

料金 大人460円 小学生180円 幼児80円  
サウナ プラス120円 (土日祝170円)  
**朝湯サウナ無料**  
タオルセット 70円  
**リンスインシャンプー・ボディソープ無料**  
定休日 第3火曜日 (祝日の場合翌日水曜)

## 12月22日(金) ゆず湯

12月22日は冬至。1年間でもっとも昼の時間が短い1日です。薬湯と露天風呂にてゆず湯を実施いたします。先着1800名様にヤクルトプレゼント。

### 年末年始の営業のお知らせ。

#### 年内は休まず通常営業いたします。

12月31日まで 通常営業  
元日 お休み  
1月2日 06:00~16:00  
1月3日以降 通常営業  
\*1月2日の終日と1月3日の11時以降はサウナが土日祝料金の170円となります。

### 上野の森マラソン特別営業

12月17日(日)の上野の森マラソン当日はランナーの方の利用に合わせて特別営業をいたします。

#### 12月17日営業時間

6:00~9:00

10:00~25:00

休憩所は6:00~25:00までご利用できます。

### \*オーナーのコラム

日本屈指の歓楽街「博多」、そこから電車で15分の所に奈良時代から続く温泉があるのはご存知でしょうか?二日市温泉、霧島火山帯がある九州ならではの羨ましいお話ですね。他にも湯布院、別府、黒川温泉など博多から近い温泉は多数ありますが、九州一の大都市博多から15分で気軽に行ける温泉、他では味わえない魅力溢れる旅へ先日行ってきました。博多駅から快足に乗りしばらくすると景色が郊外の住宅街へと変わります。そんな風景が断続的に続く中「二日市駅」に到着します。電車を降りるとまあビックリ!街は全く温泉街の気配を感じません。「あれ?もしかして外れ引いちゃったかな?」なんて考えながら歩くこと15分、やっと温泉街らしき景色が現れ目的地である二日市温泉「博多湯」と「御前湯」という共同浴場に到着しました。この二つの浴場のみ日帰り入浴が可能です。しかもこの二つは道を挟んで向かい合っていますので、いわばライバル同士です。まずは博多湯へ入浴、料金300円と格安ですが洗い場は狭く浴槽も一つのため、↑

## 薬湯の予定

### 12月

1	金	実宝湯	16	土	シャンパン
2	土	玉露カテキン	17	日	ホットハーブ
3	日	ひのき	18	月	よもぎ
4	月	生姜エキス	19	火	りんご
5	火	シャンパン	20	水	実宝湯
6	水	レモン	21	木	玉露カテキン
7	木	ホットハーブ	22	金	ゆず湯
8	金	よもぎ	23	土	ひのき
9	土	りんご	24	日	シャンパン
10	日	実宝湯	25	月	生姜エキス
11	月	シャンパン	26	火	レモン
12	火	玉露カテキン	27	水	ホットハーブ
13	水	ひのき	28	木	よもぎ
14	木	生姜エキス	29	金	りんご
15	金	レモン	30	土	実宝湯
			31	日	玉露カテキン

\*上記は実宝湯、ゆず湯を除き全て入浴剤を使用します。

### 露天風呂 15日鳴子温泉湯の花

↓様々なお風呂を楽しむということではできません。しかし源泉を加温せずに掛け流しているため硫黄臭漂う温泉の香りがして、温泉気分を満喫できます。ほとんどのお客さんが30分以内で上がっていきませんがそれでも満足感を味わえるとても良い泉質でした。そのあとは御前湯、こちらは公衆浴場としての営業なので値段は250円とさらに格安、しかも市内の高齢者は150円で入浴できるので近所の常連さんにも人気ようです。中は都内にある普通の銭湯ほどの大きさで博多湯よりも収容力がありゆっくりと楽しめる施設です。ただし肝心の泉質という若干塩素臭が気になったので、せっかく温泉を求めに来た私にとっては物足りなさも感じました。100年ほど前までは福岡県唯一の温泉であり皮膚病や火傷に効くなど多くの人で賑わった二日市温泉ですが正直言うと今はその勢いを失っています。なんだか東京の銭湯の未来図を映し出しているような気がします。せっかく大都市から近い好立地の温泉ですから今までの温泉街にない工夫で復活してもらい温泉を中心に街が活気づいて欲しいですね。